



文化庁

文化庁補助事業

重要無形文化財指定「日本舞踊」

日本舞踊保存会

第二回

研修成果発表会

令和6年

12月24日[火]

14時開演(13:30開場)

渋谷区文化総合センター大和田
伝承ホール(6階)

〒150-0031 渋谷区桜丘町23-21(渋谷駅より徒歩5分)


●入場料: 3,000円(全自由席)

[チケット販売: 11月1日(金)午前10時より]

■お取扱い: チケットぴあ インターネット予約
<https://t.pia.jp> [Pコード: 530-166]
※セブンイレブン店内のマルチコピー機からも
ご購入いただけます

■お問合せ: 日本舞踊保存会事務局
〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-2
パークタワー勝どきミッド410
公益社団法人日本舞踊協会内
TEL 03-3533-6455
FAX 03-3533-8768

■主催: 日本舞踊保存会

■協力:  公益社団法人 日本舞踊協会



長唄 おとこまゐ 「男舞」

〔振付：二世藤間勘恵〕

指導者

●舞踊指導

藤間 洋子

●長唄指導・演奏

唄 杵屋 勝四郎

三味線 今藤 美治郎

●囃子指導・演奏

堅田 新十郎

養成者

●舞踊

藤間 勘恵

●長唄

唄 今藤 龍之右

杵屋 勝四郎

三味線 杵屋 勝国悠

杵屋 三 緑

●囃子

梅屋 貴音

住田 福十郎

望月 左太晃郎

堅田 喜衣紗

望月 大 貴

清元 かいらいし 「傀儡師」

指導者

●舞踊指導

花柳 錦吾

●清元指導・演奏

浄瑠璃 清元 美寿太夫

●清元指導

三味線 清元 菊・輔

●囃子指導・演奏

堅田 新十郎

養成者

●舞踊

花柳 吉史加

●清元

浄瑠璃 清元 一太夫

清元 瓢太夫

三味線 清元 美三郎

清元 斎 寿

清元 志 一朗

●囃子

梅屋 貴音

住田 福十郎

望月 左太晃郎

堅田 喜衣紗

望月 大 貴

長唄 もみじがり 「紅葉狩」

指導者

●舞踊指導

若柳 彦三衛門

●長唄指導・演奏

唄 杵屋 勝四郎

三味線 今藤 美治郎

●囃子指導・演奏

堅田 新十郎

養成者

●舞踊

腰元秋篠美六
鬼女 水木 扇升

雲井太郎 西川 大 樹

●長唄

唄 今藤 龍之右

杵屋 勝四郎

三味線 杵屋 勝国悠

杵屋 三 緑

●囃子

梅屋 貴音

住田 福十郎

望月 左太晃郎

堅田 喜衣紗

望月 大 貴

〔各演目笛演奏 福原徹彦〕

日本舞踊保存会及び研修成果発表会について

日本舞踊保存会は、令和5年10月に日本舞踊が国の重要無形文化財として指定されたことに伴い発足、日本舞踊保存会の構成員56名が重要無形文化財「日本舞踊」総合認定保持者として認定されました。保存会会員は現在、立方（舞踊家）39名、地方（演奏家）16名によって構成されています。

保存会の大きな使命は、重要無形文化財である日本舞踊を次代へと伝承していく舞踊家並びに演奏家の養成です。この度の研修は、日本舞踊の多彩な特色がよく表れた3つの演目を選定、保存会会員が指導を担当し、若手から中堅の舞踊家4名、演奏家14名に対し研修を行いました。第2回目となる研修成果発表会では研修を積み重ねたその成果をご覧いただけます。

舞踊と演奏が一体となった魅力ある日本舞踊の舞台をぜひお楽しみください。

重要無形文化財「日本舞踊」の概要（文化庁資料より抜粋）

日本舞踊は、主に江戸・東京の歌舞伎において初演された歌舞伎舞踊や、京阪において主に座敷舞として発展した京舞及び上方舞から構成された、我が国の伝統的な舞踊である。演目としては18世紀以降につくられた歌舞伎舞踊が多く、割合を占めるが、劇場振付師や舞踊師匠たちを中心に伝承されてきた点、また衣裳付の上演のみならず、本衣裳を排し、より踊り手の技芸に表現の重点をおいた、素踊りも重要な上演形態となっている点など、歌舞伎を離れた独自の歴史や芸術上の表現を有している。

上演にあたっては、立方とともに、長唄、常磐津節、清元節、義太夫節、地歌など演奏を受け持つ地方も不可欠な構成要素となっており、御祝儀物と呼ばれる素踊りの演目群に代表されるように、演奏用に開曲された曲に振付を加えた演目も、主要な伝承曲となっている。

以上のように、日本舞踊は、芸術上特に価値が高く、芸能史上特に重要な地位を占めるものである。